



ZXHN F2866S

XGS-PON ONT

取扱説明書

Version V1.1

Serial Number: SJ-20171024145327-002

Publishing Date: 2023-06-29(R1.2)

ZTE CORPORATION
No. 55, Hi-tech Road South, ShenZhen, P.R.China
Postcode: 518057
Tel: +86-755-26771900
Fax: +86-755-26770801
URL: <http://support.zte.com.cn> E-
mail: 800@zte.com.cn

法律情報

Copyright © 2019 ZTE CORPORATION.

この文書の内容は、著作権法および国際条約によって保護されています。ZTE CORPORATION の書面による事前の同意なしに、この文書またはこの文書の一部をいかなる手段によっても複製または配布することは禁じられています。さらに、この文書の内容は契約上の守秘義務によって保護されています。

すべての会社名、ブランド名および製品名は、ZTE CORPORATION またはそれぞれの所有者の商標もしくは登録商標です。

この文書は「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性、権原または非侵害に対する黙示の保証を含むがこれに限定されない、明示、黙示、または法定の保証、表明または条件はすべて放棄されます。ZTE CORPORATION およびその権利保有者は、ここに含まれる情報の使用またはそれに依存することに起因する損害について一切責任を負いません。

ZTE CORPORATION またはその権利保有者は、この文書の内容を対象とする、現在または未決の知的所有権または申請書を所有している可能性があります。ZTE CORPORATION とその権利保有者との間の書面によるライセンスで明示的に規定されている場合を除き、この文書のユーザはここに記載された内容に対するライセンスを取得することはできません。

ZTE CORPORATION は、予告なくこの製品をアップグレードまたは技術的変更を行う権利を留保します。ユーザはZTE テクニカルサポート Web サイト <http://support.zte.com.cn> にアクセスして関連情報を入手することができます。この製品を解釈する最終的な権利は ZTE CORPORATION にあります。

改訂履歴

Revision No.	Revision Date	Revision Reason
R1.0	2019-04-18	初版
R1.1	2023-06-07	一部の誤記修正
R1.2	2023-06-29	一部の誤記修正

Serial Number: SJ-20171024145327-002

Publishing Date: 2023-06-27(R1.2)

目次

目次.....	4
1. 概要.....	6
1.1 パッケージ内容.....	6
1.2 LED 表示.....	6
1.3 ポート.....	9
1.4 製品の機能.....	10
1.5 製品仕様.....	11
1.6 アプリケーションシナリオ.....	12
2.設定の準備.....	13
3.ネットワーク設定.....	16
3.1 ネットワークインターフェースの確認.....	16
3.1.1 PON 情報の確認.....	16
3.1.2 WAN 接続状態の確認.....	16
3.2 セキュリティーの設定.....	17
3.2.1 ファイアウォールレベルの設定.....	17
3.2.2 フィルタルールの設定.....	18
3.2.3 ローカルサービス制御の設定.....	22
3.2.4 ALG を設定する.....	24
3.2.5 DMZ の設定.....	25
3.2.6 ポート転送の設定.....	26
3.2.7 ポートトリガーの設定.....	28
3.3 ペアレンタルコントロールの設定.....	29
3.4 SNTP の設定.....	31
4.ローカルネットワークの設定.....	32
4.1 WLAN の設定.....	32
4.1.1 WLAN ステータスの確認.....	32
4.1.2 WLAN 基本設定.....	33

4.1.3 WLAN 拡張パラメータの設定	38
4.1.4 WPS の設定	39
4.2 LAN の設定	40
4.2.1 LAN ステータスの確認.....	40
4.2.2 LAN (IPv4)の設定	41
4.2.3 LAN (IPv6)の設定	44
4.3 FTP の設定.....	48
4.4 UPnP の設定	49
4.5 DMS/DLNA の設定.....	50
4.6 DNS の設定.....	52
4.7 USB の設定	53
5. 管理と診断.....	55
5.1 デバイス管理	55
5.2 アカウント管理.....	55
5.3 ログ管理.....	57
5.4 診断.....	59
5.4.1 ネットワーク診断	59
5.4.2 ループバック検出	60
6. トラブルシューティング	62
用語集.....	63

第1章

1. 概要

1.1 パッケージ内容

表 1-1 の部品が同梱されていることをご確認ください。

表 1-1 パッケージ内容

名称	数量
ZXHN F2866S 本体	1 台
電源アダプタ	1 個
RJ-45 ケーブル	1 本
簡易ユーザガイド	1 冊



Note:

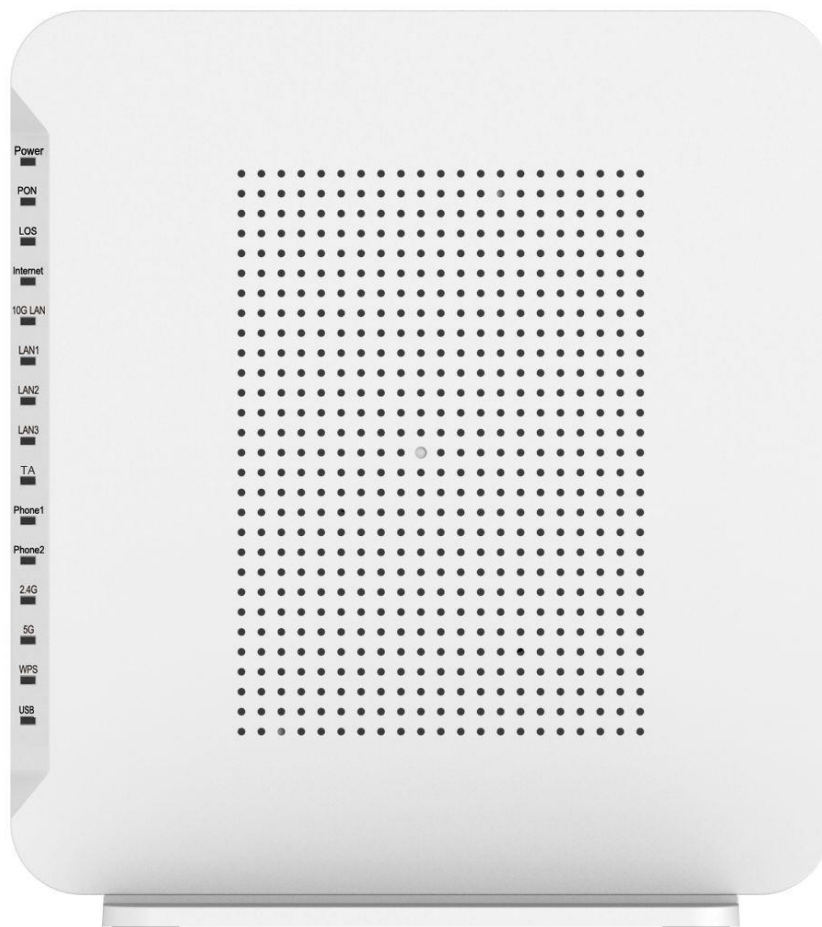
このリストは参考用です。実際の内容はリストと異なる場合があります。

パッケージに含まれるアイテムのいずれかが正しく同梱されていない（紛失、または破損している）場合は、サービスプロバイダにご連絡ください。製品交換のためには、パッケージと部品の保護をお願いします。

1.2 LED 表示

図 1-1 は ZXHN F2866S ユニットの前面パネルにあるインジケータを示しています。

図 1-1 前面パネルの表示



表示の説明については、表 1-2 を参照ください。

表 1-2 LED 表示と機能

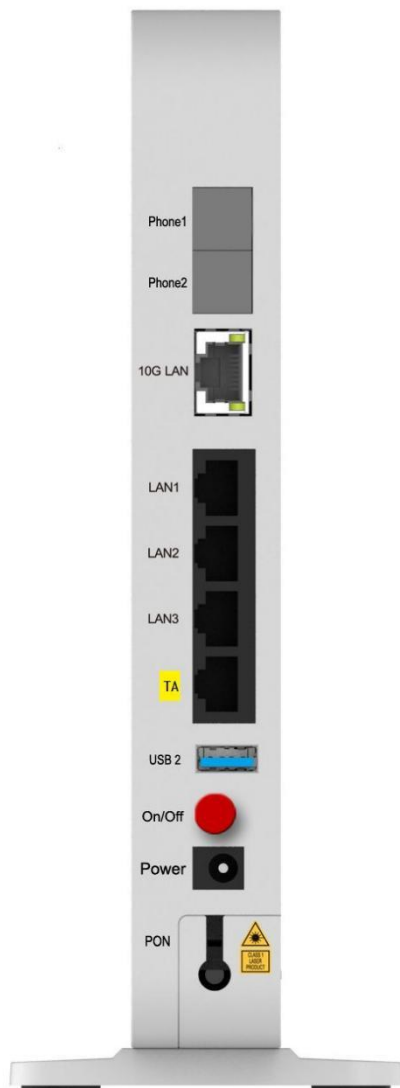
ランプの名称	詳細説明
Power	電源の状態を示しています。 ● 緑点灯: 通電中 消灯: 電源が切れている時
PON	PON の状態を示しています。 ● 緑点灯: 登録プロセス完了時 ● 緑点滅 (高速) : 起動中 ● 緑点滅 (低速) : アップグレード中 消灯: 登録プロセスを開始できていない
LOS	アラームの状態を示しています。 ● 赤点灯: 障害時 消灯: 正常時

Internet	<p>インターネットの接続状態を示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緑点灯:インターネット接続確立時（イーサネット接続用に正しい IP アドレスが取得されます） ● 緑点滅:データが流れている時 ● 消灯: インターネット接続が存在しない時
10G LAN	<p>10G イーサネットインターフェースの接続状態を示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緑点灯: LAN ポートに設備が接続されているが、データ受送信がない時 ● 緑点滅:データ送受信時 ● 消灯: LAN ポートに設備が接続されていない時
LAN1– LAN3 TA	<p>イーサネットインターフェースの接続状態を示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緑点灯: LAN ポートに設備が接続されているが、データ受送信がない時 ● 緑点滅:データ送受信時 ● 消灯: LAN ポートに設備が接続されていない時
2.4G	<p>WIFI (2.4 GHz) インターフェースの状態を示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緑点灯: WIFI 機能オン時 ● 緑点滅: データ送受信時 ● 消灯: WIFI 機能オフ時
5G	<p>WIFI (5 GHz) インターフェースの状態を示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緑点灯: WIFI 機能オン時 ● 緑点滅: データ送受信時 ● 消灯: WIFI 機能オフ時
WPS	<p>WPS の状態を示しています</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緑点灯: オートネゴシエーション成功時 ● 黄点滅: オートネゴシエーション中 ● 赤点滅: セッション・オーバーラッピング検査またはオートネゴシエーション失敗時
USB	<p>USB インターフェースの接続状態を示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緑点灯: USB インターフェースが接続されているが、データ送受信がない時 ● 緑点滅: データ送受信時 ● 消灯: USB インターフェースに設備が接続されていない時

1.3 ポート

図 1-2 は ZXHN F2866S ユニットの背面ポートとボタンを示しています。

図 1-2 背面ポートとボタン



背面ポートとボタンの説明については、表 1-3 を参照下さい。

表 1-3 背面ポートとボタンの詳細

ポート/ボタン	詳細説明
10G LAN	RJ-45 ケーブル経由でデバイスを別のイーサネットデバイスに接続するために使用されるイーサネットインターフェース。
LAN1 – LAN3	RJ-45 ケーブル経由でデバイスを別のイーサネットデバイスに接続するために使用されるイーサネットインターフェース。

TA	RJ-45 ケーブル経由でデバイスを IP 電話に接続するために使用されるイーサネットインターフェース。
USB1/USB2	ファイル共有、高速バックアップ、およびデータ復元のために USB ストレージデバイスに接続された標準 USB 3.0 インターフェース。
On/Off	電源スイッチボタン。
Power	12V DC インターフェース。
PON	XGS-PON インターフェース。
Reset	デバイス起動中に使用するリセットボタン <ul style="list-style-type: none"> ● 細い針を使って穴の内側にあるキーを押し、その後すぐにキーを放すとデバイスが再起動します。設定は失われません。 ● 細い針を使用して、穴の内側にあるキーを 5 秒以上押し続けると、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。
2.4G/5G	ボタンを押して、2.4GHz / 5GHz の周波数帯でワイヤレスネットワークをオンまたはオフにします。
WPS	Wi-Fi Protected Setup 機能を有効にします。機能を有効にするには、ボタンを押します。

- USB1 インターフェース、リセットボタン、2.4G / 5G ボタン、WPS ボタンは ZXHN F2866S デバイスの側面にあります。

1.4 製品の機能

インターフェース機能

- XGS-PON インターフェース: ITU-T G.9807 および ITU G.988 規格に準拠した SC / UPC および SFP + 光インターフェースをサポートします。
- Ethernet インターフェース: IEEE 802.3 規格に準拠した 1 つの 10GE インターフェースと 4 つの自動検出 100/1000 Mbps インターフェース。
- WLAN インターフェース: IEEE 802.11n および IEEE 802.11 b / g プロトコルに準拠した 2.4 GHz 周波数帯をサポートします。IEEE 802.11ac および IEEE 802.11n / a プロトコルに準拠した 5 GHz 周波数帯をサポートし、内蔵アンテナを提供します。
- USB インターフェース: 標準 USB 3.0 インターフェースをサポート

技術機能

ZXHN F2866S は以下の機能を提供します。:

- ワイヤレス機能

WLAN 機能を有効または無効にし、複数の SSID と仮想 AP、自動および手動のチャンネル選択可、WPS 2.0 仕様、2.4 GHz と 5 GHz の周波数帯域をサポートします。

- データ応用機能

IPv4 と IPv6、データ転送とルーティング、DNS と DDNS などの機能をサポートします。

- QoS 機能

サービス制御、サービスフロータギング、キュースケジューリング、フロー分類ポリシー、速度制限ポリシー、および帯域幅保証などの機能をサポートします。

- セキュリティー管理機能

ファイアウォール、データパケットフィルタリング、アクセス制御などの機能をサポートします。

- 構成管理機能

複数の管理方法を使用して構成の保守をサポートし、HTTP ベースのローカル Web 管理と OMCI ベースのリモート管理を含むトラブルシューティングとネットワーク管理をサポートします。

1.5 製品仕様

ZXHN F2866S の製品仕様の説明については、表 1-4 を参照してください。

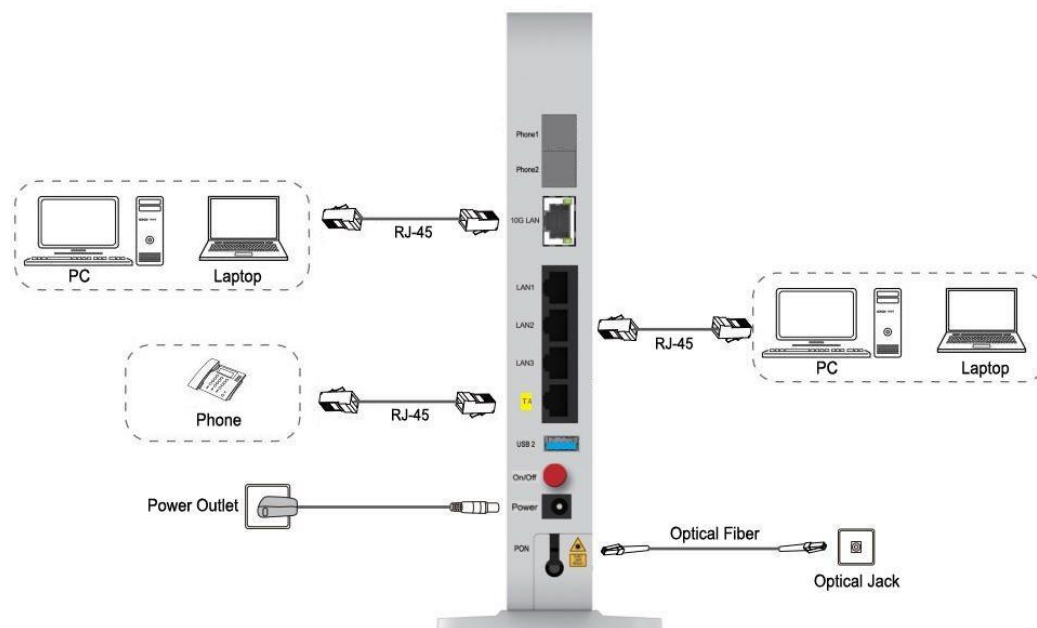
表 1-4 製品仕様

技術仕様	
外観寸法	206 mm(W) × 222 mm(H) × 32 mm(D) (スタンド部分を含む)
認証	VCCI クラス B 認証 JRF 認証 Wi-Fi 認証
電源アダプタ	Model NO: HK036A-C5-0Z 出力電圧,電流: DC 12 V, 3 A 入力電圧: AC 100 V – 240 V, 50 Hz/60 Hz
動作温度	-5 °C to +45 °C
操作湿度	5% – 95% (非結露)

1.6 アプリケーションシナリオ

ZXHN F2866S は、10 GE インターフェースまたは Wi-Fi インターフェースを介して、ホームユーザおよび小規模ビジネスユーザに XGS-PON アップリンク光アクセスおよび内部ネットワーク機能を提供します。図 1-3 はアプリケーションシナリオを示しています。

図 1-3 アプリケーションシナリオ



第2章

2.設定の準備

このマニュアルでは、ZXHN F2866S を開くためのログイン方法を説明するための例として、Windows オペレーティングシステムを使用しています。

コンテキスト

コンピュータから ZXHN F2866S にログインするには、コンピュータの IP アドレスを設定してコンピュータの IP アドレスと ZXHN F2866S のメンテナンス IP アドレスを同じネットワークセグメントに所属させる必要があります。

ZXHN F2866S のデフォルトメンテナンス情報は以下のとおりです。

- IP address: 192.168.1.1
- Subnet mask: 255.255.255.0
- Gateway: 192.168.1.1

手順


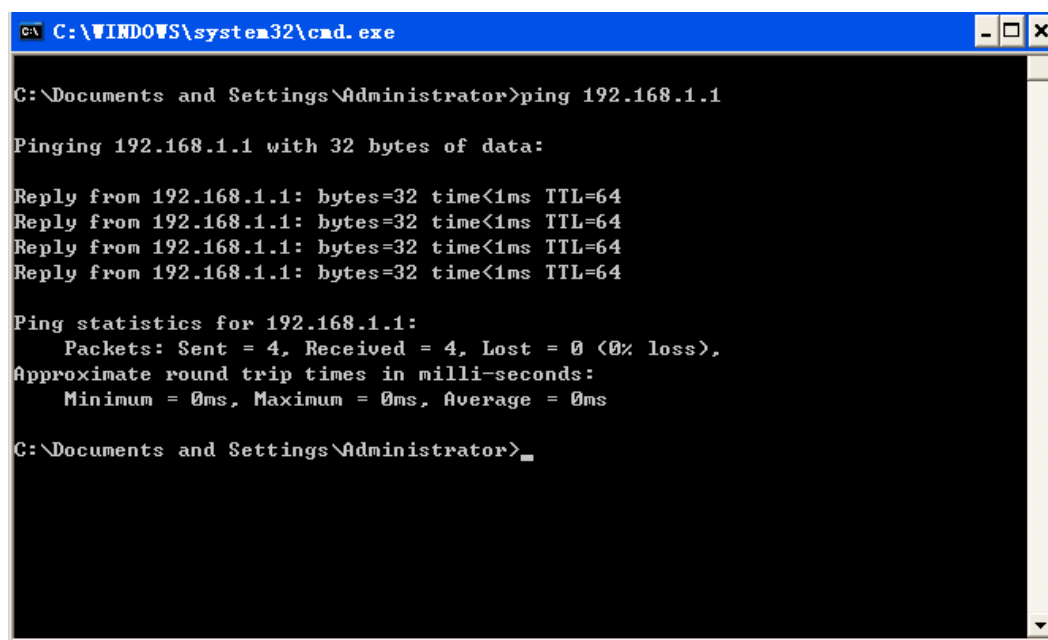
1. イーサネットケーブルを使用してローカルコンピュータと ZXHN F2866S の空いている LAN インターフェースを接続します。
2. ローカルコンピュータで、[ローカルエリア接続]をダブルクリックし、[プロパティ]をクリックします。[ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。インターネットプロトコル (TCP / IP) をダブルクリックします。[インターネットプロトコル (TCP / IP) のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。IP アドレスを **192.168.1.200**、サブネットマスクを **255.255.255.0**、デフォルトゲートウェイを **192.168.1.1** に設定します。
3. **OK** をクリックします。
4. コンピュータの IP アドレスが設定されたら、**Ping** コマンドを実行して IP アドレス **192.168.1.1** に ping を実行します。ping 操作が成功した場合は、TCP/IP 設定が正しいこと、およびコンピュータが ZXHN F2866S を開くために正しく接続されていることを示します。  2-1.

図 2-1 Ping



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe

C:\Documents and Settings\Administrator>ping 192.168.1.1

Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64

Ping statistics for 192.168.1.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

C:\Documents and Settings\Administrator>
```

5. Internet Explorer を開き、アドレスフィールドに”https://192.168.1.1”と入力します。 **Enter** キーを押してください。 **ログインページ**が表示されます。 図 2-2.

図 2-2 ログインページ



ようこそF2866S。にログインしてください。 |

ユーザー名

パスワード

ログイン

6. ユーザー名とパスワード(デフォルトでは「admin / 暗号化キー」と設定されています)を入力して[ログイン]をクリックします。ホームページが表示されます。 図 2-3.

図 2-3 ホームページ



7. 機器情報を確認してください。**管理 & 診断 > ステータス**を選択します。このページは、ハードウェアのバージョンとソフトウェアのバージョンが正しいかどうかを示します。図 2-4 を参照ください。最新の情報を取得するには、**[更新]**をクリックします。

図 2-4 デバイス情報

ページ情報

このページでは、デバイスの基本情報を表示します。

▼ デバイス情報

デバイスタイプ	F2866S
デバイスのシリアル番号	00d0d0-ZTEENQDT000023
バッチ番号	07e3P7T201a2
ハードウェアバージョン	V1.0
ソフトウェアバージョン	V1.0.10P6T2
ブートバージョン	V1.0.38

リフレッシュ

第 3 章

3. ネットワーク設定

3.1 ネットワークインターフェースの確認

3.1.1 PON 情報の確認

このセクションでは、PON 情報の確認について説明します。

ZXHN F2866S デバイスの光モジュール情報には、GPON 状態、入力電力、出力電力、動作温度、動作電圧、および動作電流が含まれます。

手順


1. ZXHN F2866S のメインページでインターネット>ステータス>PON 情報を選択して、PON 情報ページを開きます。  図 3-1

図 3-1 PON 情報

ページ情報

光モジュールの表示

▼ PON情報

ONU状態	初期状態(o1)
光モジュール入力パワー (dBm)	--
光モジュール出力パワー (dBm)	--
光モジュール供給電圧 (mV)	3262
光送信器のバイアス電流 (mA)	35.216
光モジュールの動作温度 (°C)	52.667

リフレッシュ

2. 最新の情報を確認するには、[更新]をクリックします。

3.1.2 WAN 接続状態の確認

このセクションでは、WAN 接続状態の確認について説明します。

WAN 接続ステータス メニュー項目を使用して、IP アドレス、接続名などを含む WAN 接続のステータスを確認できます。PON 接続ステータス情報は、PON 接続が作成されたときにのみ表示されます。

手順

1. ZXHN F2866S のメインページでインターネット>ステータス>WAN を選択して、


「WAN 接続状態」ページを開きます。  3-2

図 3-2 WAN 接続ステータス

ページ情報

このページにはWANのステータスが表示されます。

▼ WAN接続ステータス

接続名	TST
タイプ	PPPoE
IPバージョン	IPv4
NAT	オン
IPアドレス	0.0.0.0/0.0.0.0
DNS	0.0.0.0/0.0.0.0/0.0.0.0
IPv4接続ステータス	切断された
IPv4オンライン期間	0 h 0 min 0 s
切断理由	キャリアなし
WAN MAC	14:3e:bf:b5:b2:2c

リフレッシュ

2. 最新の情報を確認するには、[更新]をクリックします。

3.2 セキュリティーの設定

3.2.1 ファイアウォールレベルの設定

この手順では、ファイアウォールを構成してデバイスのセキュリティーを強化し、外部のネットワークからの不正なアクセスを回避する方法について説明します。

コンテキスト

デバイスは IPv4 に基づくファイアウォールのみをサポートします。

手順


1. ZXHN F2866S のメインページでインターネット>セキュリティー>ファイアウォールを選択してファイアウォールのページを開きます。  3-16

図 3-16 ファイアウォール

ページ情報

このページには、ファイアウォールパラメータの設定機能があります。

▼ ファイアーウォール

[ファイアウォールレベルを設定する際に注意すべき点は何ですか？](#)

セキュリティレベル 高
 中 (推奨)
 低
 オフ (推奨しません)

アンチハッキング

- パラメータを設定する。各パラメータの詳細は表 3-11 参照

表 3-11 ファイアウォールパラメータの説明

パラメータ	表示
ファイアウォールレベル	<ul style="list-style-type: none"> ● 高: WAN からの合法的なアクセスは許可するが、インターネットデバイスが ZXHN F2866S の WAN インターフェースに ping パケットを送信する事はブロックされます。 ● 中: WAN からの合法的なアクセスは許可するが、インターネットからの危険なデータはブロックされます。 ● 低: WAN からの法的アクセスを許可し、インターネットデバイスが ZXHN F2866S の WAN インターフェースに ping パケットを送信できます。 ● オフ: ファイアウォールを無効にします。
ハッキング防止対策の有効化	ハッキング防止対策を有効にし、インターネット攻撃によるデバイスのシャットダウンを防止するには、このチェックボックスをオンにします。この機能により、ping フラッド、ping の実行、および SYN フラッド攻撃を防ぐことができます。


- 変更を適用するには、適用をクリックします。

3.2.2 フィルタルールの設定

このセクションでは、フィルタルールを設定する方法について説明します。

手順

フィルタスイッチとモードの設定

- ZXHN F2866S 装置のメインページでインターネット > セキュリティー > フィルタ設定を選択して、フィルタスイッチ と モード設定のページを開きます。  3-17

 3-17 フィルタスイッチとモード設定

ページ情報

このページでは、フィルタ条件とパラメータ設定機能を提供します。

▼ フィルタスイッチとモード設定

2. フィルタスイッチとモード設定パラメータを設定します。表 3-12

表 3-12 フィルタスイッチとモード設定パラメータの説明

パラメータ	説明
MAC フィルタスイッチ	On を選択すると、MAC フィルタ機能が有効になる。
MAC フィルタ	MAC フィルタ機能を有効にする。 2つのモードがある。: <ul style="list-style-type: none"> ブラックリスト このモードが選択されると、MAC フィルタで設定された MAC アドレスは除外され、対応する接続先に ZXHN F2866S からインターネットアクセスすることはできない。 ホワイトリスト このモードが選択されると、MAC フィルタで設定された MAC アドレスに対応する接続先に ZXHN F2866S からアクセスすることができる。
URL フィルタスイッチ	On を選択すると URL フィルタ機能が有効になる。
URL フィルタ	URL フィルタ機能を有効にする。 2つのモードがある。 <ul style="list-style-type: none"> ブラックリスト このモードを選択すると URL フィルタに設定されている web サイトがフィルタで除外されアクセスできなくなる。 ホワイトリスト このモードを選択すると URL フィルタに設定されている web サイトにのみアクセス可能となる。


3. 変更を適用するには、[適用] をクリックします。

MAC フィルタを設定する。

1. **MAC フィルタ** をクリックして **MAC フィルタ** ページを開きます。  3-18

3-18 MAC フィルタ

▼ MACフィルタ



▼ 新項目

名前

タイプ ルーティング ▼

プロトコル 任意 ▼

送信元MACアドレス : : : :

[関連するデバイスから選択する。](#)

適用 キャンセル

+ 新しいアイテムを作成する

2. MAC フィルタのパラメータを設定します。 表 3-13

表 3-13 MAC フィルタパラメータの説明

パラメータ	説明
名前	MAC フィルタの名前
タイプ	デフォルト値はルーティング。
プロトコル	データ・ストリームのプロトコル。 オプション: IP および Any.
MAC アドレスの送信元	フィルタが必要な MAC アドレス。

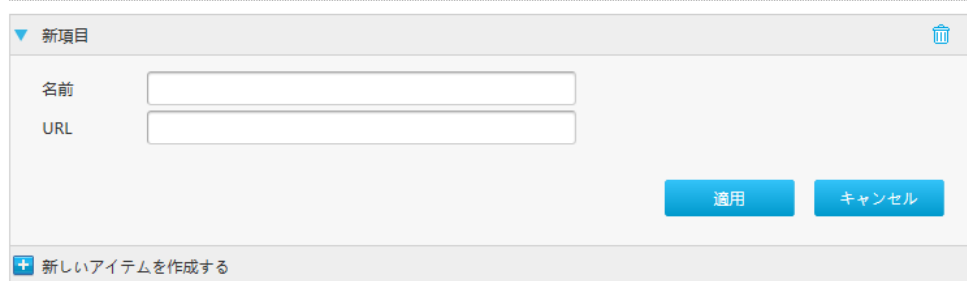
3. 変更を適用するには、**[適用]** をクリックします。

URL フィルタの設定

1. **URL フィルタ** をクリックして **URL フィルタ** ページを開きます。  3-19.

3-19 URL フィルタ

▼ URLフィルタ



▼ 新項目

名前

URL

適用 キャンセル

+ 新しいアイテムを作成する

2. URL フィルタ名と URL を入力します。
3. 変更を適用するには **[適用]** をクリックします。

IP フィルタの設定

1. **IP フィルタ-IPv4** をクリックして IPv4 フィルタページを開きます。  3-20.

図 3-20 IPv4 フィルタページ

▼ IPフィルタ - IPv4

▼ 新項目
○ オン ● オフ
🗑️

名前

モード 許可する 破棄

Order ▼

プロトコル ▼

送信元ポート範囲 ~

宛先ポート範囲 ~

送信元IP範囲 ~

宛先IP範囲 ~

入口IF(Ingress) ▼

出口IF(Egress) ▼

+ 新しいアイテムを作成する

2. IPv4 フィルタのパラメータを設定します。表 3-14

表 3-14 IPv4 フィルタのパラメータ一覧

パラメータ	説明
オン/オフ	IPv4 フィルタ機能を有効にするには、ラジオボックスをオンに設定する。
名前	IP フィルタ項目の名前。 名前の入力必須。
モード	データパッケージを破棄するか、許可するかを定義する。
順序	シーケンス番号のフィルタリング
プロトコル	パケットをフィルタリングする必要があるプロトコルを選択。
送信元ポートの範囲/宛先ポートの範囲	送信元/宛先のポート。デフォルトは TCP。
送信元 IP 範囲/宛先 IP 範囲	送信元/宛先 IP アドレス。
イングレス	データトラフィックの方向を指定する。上りのオプションと下りのオプションを同じにすることはできない。 <ul style="list-style-type: none"> ●イングレス（上り）が LAN なら、エグレス（下り）は WAN 接続となる。 データトラフィックの方向は上り向きとなる。 ●もしイングレスが WAN 接続なら、エグレスは LAN となる。 データトラフィックの方向は下り向きとなる。

エグレス	<p>データトラフィックの方向を指定する。上りのオプションと下りのオプションを同じにすることはできない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●インGRESS（上り）が LAN なら、エグレス（下り）は WAN 接続となる。 データトラフィックの方向は上り向きとなる。 ●もしインGRESSが WAN 接続なら、エグレスは LAN となる。 データトラフィックの方向は下り向きとなる。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



Note:

IPv6 フィルタの設定は、IPv4 の設定参照

3. 変更を適用するには[適用]をクリックします。

3.2.3 ローカルサービス制御の設定

このセクションでは、ローカルサービス制御を設定する方法について記述します。

手順

サービス制御の設定-IPv4.

1. ZXHN F2866S デバイスのメインページでインターネット>セキュリティー>ローカルサービス制御 を選択して、IPv4 のサービス制御ページを開きます。 図 3-21

図 3-21 ローカルサービス制御-IPv4

ページ情報

このページでは、ローカルサービス制御パラメータの設定機能を提供します。

▼ サービス制御 - IPv4

▼ 新項目
○オン ●オフ
🗑️

名前

モード 許可する 破棄

入口IF(Ingress) WAN ▼

IP範囲 ... ~ ...

サービスタイプ FTP TELNET HTTPS PING

適用
キャンセル

+ 新しいアイテムを作成する

2. ローカルサービス制御-IPv4 パラメータを設定します。表 3-15

表 3-15 ローカルサービス制御の説明-IPv4 パラメータ

パラメータ	説明
サービス制御-IPv4 スイッチ	オン: サービス制御-IPv4 機能を有効にする。 オフ: サービス制御-IPv4 機能を無効にする。
名前	サービスコントロール項目の名前 名前の入力必須
モード	モードは以下の通り。 ● 許容 ● 破棄
インGRESS	データ・ストリームをインバウンドとする。このパラメータは必須。 ● インGRESSが WAN_All なら、全ての WAN から ZXHN F2866S にアクセスできる。 ● インGRESSが LAN なら、LAN 経由で ZXHN F2866S にアクセスできる。 ● インGRESSが WAN なら、選択された接続により ZXHN F2866S にアクセスできる。
IP 範囲	フィルタが必要な IP アドレスセグメント。 IP セグメントが NULL の場合、全ての IP アドレスが参照される。
サービスタイプ	アクセスが許可または拒否されるサービス (HTTP、FTP、SSH、TELNET、HTTPS など) を指定する。

3. 変更を適用するには、[適用] ボタンをクリックします。

サービスコントロール-IPv6 の設定

1. サービスコントロール-IPv6 を選択して、サービスコントロール-IPv6 のページを開きます。図 3-22

図 3-22 サービス制御-IPv6

▼ サービス制御 - IPv6

▼ 新項目 ○オン ●オフ 🗑️

名前

モード 許可する 破棄

入口IF(Ingress) WAN ▼

プレフィックス /

サービスタイプ FTP TELNET HTTPS PING

適用 キャンセル

+ 新しいアイテムを作成する

2. サービス制御-IPv6 パラメータを設定します。表 3-16

表 3-16 サービス制御 IPv6 パラメータの説明


パラメータ	説明
サービス制御スイッチ	オン: サービス制御-IPv6 機能を有効にする。 オフ: サービス制御-IPv6 機能を無効にする。
名前	サービスコントロール項目の名前 名前の入力必須
モード	モードは以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> 許容 破棄
インGRESS	データ・ストリームをインバウンドとする。このパラメータは必須。 <ul style="list-style-type: none"> インGRESSが WAN_All なら、全ての WAN から ZXHN F2866S にアクセスできる。 インGRESSが LAN なら、LAN 経由で ZXHN F2866S にアクセスできる。 インGRESSが WAN なら、選択された接続により ZXHN F2866S にアクセスできる。
プレフィックス	プレフィックスは IPv6
サービスタイプ	アクセスが許可または拒否されるサービス (HTTP、HTTPS など)を指定する。

3. 変更を適用するには[適用] ボタンをクリックします。

3.2.4 ALG を設定する

このセクションでは、ZXHN F2866S がセキュリティーを強化するために、レイヤ 4 パケットのプライベート IP アドレスをパブリック IP アドレスに変換できるように、ALG を設定する方法について説明します。

手順

1. ZXHN F2866S のメインページで **インターネット > セキュリティー > ALG** の順に選択して、**ALG** ページを開きます。  3-23

3-23 ALG

ページ情報

このページでは、ALGパラメータの設定機能を提供します。

▼ ALG

FTP ALG	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
H323 ALG	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
PPTP ALG	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
RTSP ALG	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
SIP ALG	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
TFTP ALG	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ

すべてオン | [すべてオフ](#)

[適用](#) [キャンセル](#)

2. ALG サービスを選択します。
3. 変更を適用するには[適用] ボタンをクリックします。



Note:

- **すべてオン** : ALG サービスを有効にします。
- **すべてオフ** : ALG サービスをキャンセルします。

3.2.5 DMZ の設定

このセクションでは、**DMZ** の設定方法について説明します。デバイスは内部ネットワークサーバにアクセス出来るよう、送信先 IP アドレスとポート番号を外部ネットワークアドレスから内部のネットワークアドレスへ変換します。

手順

1. ZXHN F2866S のメインページで **インターネット > セキュリティー > DMZ** を選択して、**DMZ** ページを開きます。 [図 3-24](#)

図 3-24 DMZ

ページ情報

このページでは、DMZパラメータの設定機能を提供します。

▼ DMZ

DMZ	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
WAN接続	オートセンス <input type="button" value="▼"/>
LANホスト	<input type="text"/>

[適用](#) [キャンセル](#)

2. DMZ パラメータを設定します。表 3-17

表 3-17 DMZ パラメータ

パラメータ	説明
DMZ	DMZ ホスト機能を有効または無効にする。
WAN 接続	LAN 側サーバーにアクセスする為に使用される WAN 接続
LAN ホスト	LAN 側のコンピュータまたはワイヤレスデバイスの MAC アドレスまたは IP アドレス。

3. 変更を適用するには [適用] ボタンをクリックします。

3.2.6 ポート転送の設定

このセクションでは、外部ネットワークからのコンピュータが WAN 接続を介して LAN 側サーバーにアクセスできるようにポート転送を設定する方法を紹介します。ポート転送ではポート転送設定の為のパラメータを提示します。

複数のサービス用のローカルサーバがあり、それらをパブリックにアクセス可能にしたい場合は、ポート転送ポリシーを指定する必要があります。NAT を適用する事で、これらサーバーの内部 IP アドレスをインターネット上でユニークなシングル IP アドレスに変換します。

インターネットユーザにとって、LAN 上のすべての仮想サーバーは同じ IP アドレスを持っています。この IP アドレスは ISP によって割り当てられます。

インターネットユーザにサーバー接続を容易にする為、このアドレスは動的ではなく静的である必要があります。

但し、インターネットユーザにサーバー接続を容易にする為、動的 DNS を使用して IP アドレスの代わりに URL を使って仮想サーバーにアクセスできるようになります。

手順

1. ZXHN F2866S のメインページでインターネット > セキュリティ > ポート転送を選択して、ポート転送ページを開きます。図 3-25

図 3-25 ポート転送

ページ情報

このページでは、ポート転送パラメータの設定機能を提供します。

▼ ポート転送

[ポート転送を設定する際に注意すべき点は何ですか？](#)

▼ 新項目
○ オン ● オフ
🗑️

名前	<input type="text"/>
プロトコル	TCP <input type="button" value="▼"/>
WAN接続	オートセンス <input type="button" value="▼"/>
WANホストのIPアドレス	0 . 0 . 0 . 0 ~ 0 . 0 . 0 . 0
LANホスト	<input type="text"/>
WANポート	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
LANホストポート	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>

+ 新しいアイテムを作成する

2. ポート転送パラメータを設定します。表 3-18

表 3-18 ポート転送パラメータ

パラメータ	説明
ポート転送スイッチ	ポート転送機能を有効または無効にする。
名前	LAN 側のホスト名, null にする事はできない。
プロトコル	プロトコル名 (TCP と UDP を含む) . デフォルトのプロトコルは TCP.
WAN 接続	LAN 側サーバーへのアクセスに使用される WAN 接続。
WAN ホスト IP アドレス	IPv4 アドレスのための IPv4 WAN 接続
LAN ホスト	LAN 側ホストの IPv4 アドレス、又は MAC アドレス
WAN ポート	WAN 側ホストのポートセグメント. 範囲: 1 - 65535.
LAN ホスト ポート	LAN 側ホストのポート番号範囲 範囲: 1 - 65535.

3. 変更を適用するには、[適用] ボタンをクリックします。



Note:

- この機能により、ユーザは WAN 側から LAN 側の仮想ホストにアクセスすることができます。
- ポート転送を使用することにより、WAN 側から割り当てられた IP とポート間のホストへのアクセスは、LAN 側の 1 つのホストに転送されます。

3.2.7 ポートトリガーの設定

このセクションでは、ポートトリガーの設定方法について説明します。ポートトリガーはポートトリガー設定に必要なパラメータを提供します。

1つのポートがトリガー・ポートになるように構成されている場合、もし一つのアプリケーションが、トリガリングポートを外部との接続をセットアップする為に使用していれば、ZXHN F2866S デバイスはその外部接続を内部送信のポートを開くために転送します。

ポートトリガーは、ポートを保護するために使用されます。システムはこれらのポートがトリガーされていない限り、これらのポートをオープンする事はありません。

手順

1. ZXHN F2866S のメインページでインターネット > セキュリティー > ポートトリガー を選択して、ポートトリガー ページを開きます。 [図 3-26](#)

図 3-26 ポートトリガー

ページ情報

このページには、ポートトリガパラメータの設定機能があります。

▼ ポートトリガー

▼ 新項目 ○オン ●オフ 🗑️

名前

トリガーIPアドレス

サービスタイプ ▼

トリガーポート

接続タイプ ▼

WANポートの範囲 ~

タイムアウト s

+ 新しいアイテムを作成する

2. ポートトリガーのパラメータを設定します。 [表 3-19](#)

表 3-19 ポートトリガーパラメータ

パラメータ	説明
ポートトリガスイッチ	ポートトリガー機能を有効または無効にする。
名前	ポートトリガーの名前
トリガーIPアドレス	LAN 側のコンピュータの IP アドレス。
サービスタイプ	TCP, UDP 及び TCP AND UDP を含むアプリケーションのサービスタイプ。デフォルトのサービスタイプは TCP.


トリガポート	アプリケーションで使用するポート。
接続タイプ	外部への接続に使用されるアプリケーションサービス。TCP, UDP と TCP AND UDP を含む デフォルトのサービスタイプは TCP。
WAN ポート範囲	トリガポートマップ上のデバイスプロトコルのポート範囲を指定する。(パケットのレイヤ 4 のポート番号) デバイスがトリガポートにアクセスするとスタートポートとエンドポートのサービスが有効になる。 WAN のスタートポートとエンドポートは次の条件を満たす必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ● エンドポートの番号はスタートポートの番号より大きい。 ● 終了ポート番号と開始ポート番号の差は 9 未満
タイムアウト	トラフィックが発生しない時間。デフォルト: 1200. 範囲 60 - 1800.

3. 変更を適用するには **[適用]** ボタンをクリックします。

3.3 ペアレンタルコントロールの設定

このセクションでは、ペアレンタルコントロールを構成する方法について説明します。

手順

1. ZXHN F2866S のメインページを開き **インターネット > ペアレンタルコントロール** を選択して、ペアレンタルコントロール ページを開きます。  **3-27**

 **3-27** ペアレンタルコントロール

ページ情報

このページでは、ペアレンタルコントロールのパラメータ設定機能を提供します。

▼ ペアレンタルコントロール

▼ 新項目
○オン ●オフ
🗑️

名前

ユーザー識別子

関連するデバイスから選択する。

時間ポリシー

日々 毎日

日 月 火 水 木 金 土

期間 h min ~ h min 終日

アクション

+ 新しいアイテムを作成する

2. ペアレンタルコントロールの設定。表 3-20

表 3-20 ペアレンタルコントロールパラメータ

パラメータ	詳細説明
オン/オフ	オンをクリックしてペアレンタルコントロール機能を有効にします。
名称	ペアレンタルコントロールの名称
ユーザ ID	IP アドレスまたは MAC アドレスに従ってユーザ情報を設定してください。
日	ペアレントコントロール設定が適用される日を指定します。
期間	ペアレントコントロール設定が適用される時間を指定します。
アクション	デバイスサポート: <ul style="list-style-type: none"> ● インターネットアクセスの禁止 インターネットアクセスは許可されません。 ● URL ブラックリスト このモードを選択すると、URL に設定されている Web サイトは除外され、アクセスできません。 ● URL ホワイトリスト このモードを選択すると、URL に設定された Web サイトにのみアクセスできます。

3. 変更を適用するには [適用] ボタンをクリックします。

3.4 SNTP の設定

このセクションでは、SNTP の設定方法について説明します。SNTP は SNTP 設定機能のパラメータを提供します。

手順

1. ZXHN F2866S のメインページでインターネット > SNTP を選択して、SNTP ページを開きます。図 3-28

図 3-28 SNTP

ページ情報

このページでは、SNTPパラメータの設定機能を提供します。

▼ SNTP

現在の日付と時刻	1970-01-01T00:41:12
タイムゾーン	(GMT) モンロビア
プライマリNTPサーバ	<input type="text"/>
セカンダリNTPサーバ	<input type="text"/>
ポーリング間隔	86400 s
DSCP	<input type="text"/>

2. SNTP パラメータを設定します。表 3-21

表 3-21 SNTP パラメータ

パラメータ	詳細説明
タイムゾーン	タイムゾーン
プライマリ/セカンダリ NTP サーバー	プライマリ/セカンダリ/第 3 /第 4 /第 5 NTP サーバーの IP アドレス。
ポーリング間隔	時間同期の間隔、デバイス : 2 番目
DSCP	Range: 0 - 63.

3. 変更を適用するには [適用] ボタンをクリックします。

第 4 章


4. ローカルネットワークの設定

4.1 WLAN の設定

4.1.1 WLAN ステータスの確認

このセクションでは WLAN ステータスの確認方法を説明します。

手順

1. ZXHN F2866S のメイン画面でローカルネットワーク > ステータス > **WLAN** ステータス を選択して、**WLAN** ステータス ページを開きます。  4-1

▼ WLANステータス

WLAN基本ステータス			
WLAN (2.4GHz)	オン	チャンネル (2.4GHz)	11
WLAN (5GHz)	オン	チャンネル (5GHz)	100
SSID1 (2.4GHz)			
SSID名	F2866S-QC43-A	MACアドレス	14:3e:bf:b5:b2:2c
SSIDスイッチ	オン	受信パケット/送信パケット	0/296
暗号化タイプ	WPA/WPA2-PSK	受信バイト数/送信バイト数	0/20128
SSID2 (2.4GHz)			
SSID名	SSID2	MACアドレス	00:00:00:00:00:00
SSIDスイッチ	オフ	受信パケット/送信パケット	0/0
暗号化タイプ	WPA/WPA2-PSK	受信バイト数/送信バイト数	0/0
SSID3 (2.4GHz)			
SSID名	SSID3	MACアドレス	00:00:00:00:00:00
SSIDスイッチ	オフ	受信パケット/送信パケット	0/0
暗号化タイプ	WPA/WPA2-PSK	受信バイト数/送信バイト数	0/0


2. リフレッシュボタンをクリックすると最新の WLAN (2.4GHz/5GHz) ステータスを表示します。WLAN (2.4GHz/5GHz) ステータスには WLAN 基本ステータス, SSID 名, SSID スイッチ, 暗号化タイプ, MAC アドレス, 受信パケット数/送信パケット数 と 受信バイト数/送信バイト数を含みます。
3. **WLAN** クライアントステータスをクリックすると **WLAN** クライアントステータス画面に進みます。  4-2

図 4-2 WLAN クライアントステータス

▼ WLANクライアントステータス

クライアント-1			
SSID	SSID1	名前	ZTE-V1000
IPv4アドレス	192.168.1.3	MACアドレス	60:14:66:47:d0:be
IPv6アドレス	fe80::6214:66ff:fe47:d0be		

リフレッシュ

- リフレッシュボタンをクリックすると最新の **WLAN** クライアントステータスを表示します。

4.1.2 WLAN 基本設定

このセクションでは、**WLAN 基本設定**の設定方法を説明します。

WLAN 基本設定のパラメータの設定情報を提供します。

手順

WLAN オン/オフ 設定

- ZXHN F2866S のメイン画面で ローカルネットワーク > **WLAN** > **WLAN 基本**を選択して、**WLAN オン/オフ設定**ページを開きます。図 4-3

図 4-3 WLAN オン/オフ 設定

ページ情報

このページでは、WLAN基本パラメータの設定機能を提供します。

▼ WLANオン/オフ設定

[WLANのオン/オフを設定する際に注意すべき点は何ですか？](#)

モード	<input checked="" type="radio"/> マニュアル <input type="radio"/> 電源スケジュールを設定する
WLAN (2.4GHz)	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
WLAN (5GHz)	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ

- WLAN オン/オフ パラメータ を設定します。表 4-1

表 4-1 WLAN オン/オフ設定パラメータリスト

パラメータ	詳細説明
モード	WLAN モード. オプション: <ul style="list-style-type: none"> ● マニュアル WLAN を手動でオンにします。 ● 電源スケジュールを設定する WLAN はスケジュールされた設定でオンになります。

WLAN (2.4GHz)	オフをクリックすると 2.4GHz WLAN は無効になります。 初期値:オン (有効)
WLAN (5GHz)	オフをクリックすると 5GHz WLAN は無効になります。 初期値:オン (有効)

3. 適用ボタンをクリックします。

WLAN SSID の設定

4. **WLAN SSID の設定**を選択すると **WLAN SSID の設定画面**に進みます。  4-4

図 4-4 WLAN SSID の設定

▼ WLAN SSIDの設定

▼ SSID1 (2.4GHz) オン オフ

SSID名

SSID非表示 オン オフ

暗号化タイプ ▼

WPAパスフレーズ 🔊

SSID分離 オン オフ

最大クライアント数

優先順位 ▼

▶ SSID2 (2.4GHz) オン オフ

▶ SSID3 (2.4GHz) オン オフ

▶ SSID4 (2.4GHz) オン オフ

▶ SSID5 (5GHz) オン オフ

▶ SSID6 (5GHz) オン オフ

▶ SSID7 (5GHz) オン オフ

▶ SSID8 (5GHz) オン オフ

5. WLAN SSID パラメータを設定します。表 4-2

表 4-2 WLAN SSID 設定パラメータ

パラメータ	詳細説明
SSID 名	SSID の名前を入力します。
SSID 非表示	違法ユーザを防ぐために SSID 情報を隠します。

暗号化タイプ	暗号化タイプを選択します。 オプション: <ul style="list-style-type: none"> ● No Security ● WPA-PSK-TKIP ● WPA-PSK-AES ● WPA/WPA2-PSK-TKIP ● WEP-OpenSystem ● WEP-SharedKey
パスワードの表示	パスワードの表示/非表示を選択します。
WPA パスフレーズ	暗号化タイプが WPA-PSK-TKIP、WPA-PSK-AES または WPA / WPA2-PSK-TKIP、WPA に設定する場合、パスワードを設定する必要があります。 範囲は 8～63 文字です。
SSID 分離	SSID 分離機能が有効になっている場合、同じ SSID を持つワイヤレスクライアントは互いにアクセスできません。
最大クライアント数	ネットワークにアクセスできる無線端末の数を設定します。 範囲は 1～32 です。
優先順位	Queue の優先順位を設定します。 範囲は 0～7 です。

6. 適用ボタンをクリックします。

WLAN グローバル設定

7. **WLAN グローバル設定**を選択して、**WLAN グローバル設定**ページを開きます。 図 4-5

図 4-5 WLAN グローバル設定

▼ WLANグローバル設定

▼ 2.4GHz

チャンネル	<input type="text" value="自動"/>
モード	<input type="text" value="混合(802.11b/g/n)"/>
国/地域	<input type="text" value="日本"/>
帯域幅	<input type="text" value="20MHz"/>
SGI	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
ビーコン間隔	<input type="text" value="100"/> ms
送信電力	<input type="text" value="100%"/>
QoSタイプ	<input type="text" value="WMM"/>
RTSしきい値	<input type="text" value="2347"/>
DTIM間隔	<input type="text" value="1"/>

▶ 5GHz

8. WLAN グローバルのパラメータを設定します。表 4-3

表 4-3 WLAN グローバル設定パラメータ

パラメータ	詳細説明
チャンネル	デフォルトは 自動 です <ul style="list-style-type: none"> ● 2.4GHz: Auto, 1 - 13. ● 5GHz: Auto, 36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104, 108, 112.

モード	<p>WLAN 送信モードを選択します。</p> <p>2.4GHz:</p> <ul style="list-style-type: none"> • IEEE802.11b only • IEEE802.11g only • IEEE802.11n only • 混合 (802.11b/g) • 混合(802.11g/n) • 混合(802.11b/g/n) <p>5GHz:</p> <ul style="list-style-type: none"> • IEEE802.11a only • IEEE802.11n only • 混合(802.11a/n) • 混合(802.11a/n/ac)
国/地域	国または地域を選択します。
帯域幅	<p>帯域幅を選択します。</p> <p>2.4 GHz: Auto, 20 MHz, 40 MHz. 初期値:20 MHz</p> <p>5GHz: 20 Mhz, 40 Mhz, 80 Mhz. 初期値:80 MHz</p>
SGI	トラフィックフローを増やす場合は、このオプションを有効にします。
ビーコン間隔	ワイヤレスデバイスが SSID 情報をブロードキャストするための時間間隔です。初期値で使用してください。
送信電力	必要に応じて送信電力を選択してください。
QoS しきい値	<p>3つの QoS タイプを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disable • WMM • SSID
RTS しきい値	<p>パケットのしきい値送信要求を指定します。パケットがこの値を超えると、デバイスはネゴシエーションのために宛先ポイントを開くために RTS 値を送信します。</p> <p>初期値:2347</p>
DTIM 間隔	<p>範囲:1 - 5.</p> <p>初期値: 1.</p>

9. 適用ボタンをクリックします。

4.1.3 WLAN 拡張パラメータの設定

この手順では **WLAN 拡張設定** の設定方法を説明します。**WLAN 拡張** は **WLAN 拡張パラメータ** の設定機能を提供します。

手順

アクセス制御-モード設定


1. ZXHN F2866S のメイン画面で **ローカルネットワーク > WLAN > WLAN 拡張** を選択して、**アクセス制御-モード設定** ページを開きます。 

図 4-6 WLAN 拡張

ページ情報

このページでは、WLAN拡張パラメータの設定機能を提供します。

▼ アクセス制御-モード設定

SSID1	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID2	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID3	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID4	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID5	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID6	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID7	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト
SSID8	<input checked="" type="radio"/> フィルタなし	<input type="radio"/> ブラックリスト	<input type="radio"/> ホワイトリスト

2. **アクセス制御-モード** を選択します。
3. **適用** ボタンをクリックします。

アクセス制御-ルール設定


4. **アクセス制御-ルール設定** を選択すると **アクセス制御-ルール設定画面** に進みます。 

図 4-7 アクセス制御-ルール設定

▼ アクセス制御-ルール設定

▼ 新項目 🗑️

名前	<input type="text"/>
SSID	SSID1 <input type="button" value="▼"/>
MACアドレス	<input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>

➕ 新しいアイテムを作成する

5. アクセス制御-ルールのパラメータを設定します。表 4-4

表 4-4 アクセス制御-ルール設定 パラメータリスト

パラメータ	詳細説明
名前	アクセス制御の名前を設定します。
SSID	SSID を選択して ACL を設定します。
MAC アドレス	WLAN デバイスの MAC アドレスを設定します。

6. 適用ボタンをクリックします。

4.1.4 WPS の設定

このセクションでは WPS の設定方法を説明します。

手順

1. ZXHN F2866S のメイン画面で ローカルネットワーク > WLAN > WPS を選択して WPS ページを開きます。図 4-8.

図 4-8 WPS 設定

ページ情報

このページでは、WPSパラメータの設定機能を提供します。

▼ WPS

[WPSの設定時に注意すべき点は何ですか？](#)

▼ 2.4GHz

WPSモード ▼

[適用](#)

▶ 5GHz

WPS パラメータリストを設定します。表 4-5

表 4-5 WPS パラメータリスト

パラメータ	詳細説明
WPS モード	デバイスがサポートする WPS モード。通常は PBC に設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> ● PBC(Push Button Connecting): プッシュボタン接続 ● 無効

2. 適用ボタンをクリックします。

4.2 LAN の設定

4.2.1 LAN ステータスの確認

このセクションでは LAN ステータスの確認方法を説明します。

手順

1. ZXHN F2866S のメイン画面で **ローカルネットワーク > ステータス** を選択して、**LAN 情報** ページを開きます。図 4-9.

図 4-9 LAN 情報

ページ情報

このページは、LANステータスを表示します。

▼ LAN情報

イーサネットポート	LAN1
状態	Up/1000Mbps/全二重
受信/送信されたバイト数	2096856/8612591
受信/送信されたパケット	16615/17902
受信/送信されたユニキャストパケット	16087/17871
受信/送信されたマルチキャストパケット	426/20
受信/送信されたエラーパケット	0/0
受信/送信されたパケットを破棄する	0/0

2. リフレッシュボタンをクリックすると**最新の LAN** ステータスが表示されます。
3. **LAN クライアントステータス**をクリックすると **LAN クライアントステータス画面**に進みます。図 4-10.

図 4-10 LAN クライアントステータス

▼ LANクライアントステータス

クライアント-1			
ポート	LAN1	名前	A23329746
IPv4アドレス	192.168.1.2	MACアドレス	dc:4a:3e:40:dc:cf
IPv6アドレス			

リフレッシュ

4. リフレッシュをクリックすると**最新の LAN** クライアントステータスが表示されます。LAN クライアントステータスには、**ポート**、**IPv4 アドレス**、**IPv6 アドレス**、**名前**と **MAC アドレス**が含まれます。

4.2.2 LAN (IPv4)の設定

このセクションでは LAN (IPv4) の設定方法を説明します。LAN (IPv4) は LAN (IPv4) パラメータの設定機能を提供します。

インターネットステータスの関連情報には、割り当てアドレス (DHCP)、DHCP サーバー、DHCP バインディング、およびデバイスの DHCP ソースが含まれます。

手順

割り当てアドレス (DHCP)

1. ZXHN F2866S のメイン画面で ローカルネットワーク > LAN > IPv4 を選択して 割り当てアドレス (DHCP) ページを開きます。
2. リフレッシュをクリックすると 最新の割り当てアドレス (DHCP) 情報が表示されます。 [図 4-11](#)

図 4-11 割り当てアドレス確認

ページ情報

このページでは、LAN (IPv4) パラメータの設定機能を提供します。

▼ 割り当てアドレス (DHCP)

ホスト名	MACアドレス	IPアドレス	ポート	残りのリース
A23329746	dc:4a:3e:40:dc:cf	192.168.1.2	LAN1	22 h 53 min 5 s
ZTE-V1000	60:14:66:47:d0:be	192.168.1.3	SSID1	23 h 54 min 25 s

リフレッシュ

3. 適用ボタンをクリックします。

DHCP ポート制御

4. DHCP ポート制御を選択すると DHCP ポート制御設定画面に進みます。 [図 4-12](#)

図 4-12 DHCP ポート制御設定

▼ デバイスのDHCPソース

LAN1	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
LAN2	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
LAN3	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
LAN5	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID1	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID2	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID3	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID4	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID5	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID6	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID7	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル
SSID8	<input checked="" type="radio"/> 制御なし	<input type="radio"/> インターネット	<input type="radio"/> ローカル

5. DHCP ソースパラメータを選択します。

6. 適用ボタンをクリックします。

DHCP バインディング

7. DHCP バインディングを選択すると DHCP バインディング設定画面に進みます。 [図 4-13](#)

図 4-13 DHCP バインディング

▼ DHCPバインディング

▼ 新項目 🗑️

名前	<input type="text"/>
MACアドレス	<input type="text" value=":::."/>
IPアドレス	<input type="text" value="."/>

➕ 新しいアイテムを作成する

8. DHCP バインディングパラメータを設定します。 [表 4-6](#)

表 4-6 DHCP バインディングパラメータ

パラメータ	詳細説明
名前	DHCP バインディングの名前を設定します。
MAC アドレス	DHCP バインディングの MAC アドレスを設定します。
IP アドレス	DHCP バインディングの IP アドレスを設定します。

9. 適用ボタンをクリックします。

DHCP サーバー

10. **DHCP Server** を選択すると **DHCP サーバー設定画面に進みます。** [図 4-14](#)

図 4-14 DHCP サーバー

▼ DHCPサーバー

DHCPサーバー オン オフ

LAN IPアドレス

サブネットマスク

DHCP開始IP アドレス

DHCP終了IP アドレス

ISP DNS オン オフ

プライマリDNS

セカンダリDNS

リース時間モード

リース時間 s

11. DHCP サーバーパラメータを設定します。 [表 4-7](#)

表 4-7 DHCP サーバーパラメータ

パラメータ	説明
DHCP サーバー	デバイスを DHCP サーバーとして機能させ、IP アドレスを割り当ててクライアント PC またはワイヤレスデバイスを開くには、オンを選択します。
LAN IP アドレス	LAN IPv4 のアドレスを設定します。
サブネットマスク	デバイスのサブネットマスクを設定します。
DHCP 開始 IP アドレス	DHCP アドレスプールの開始 IP アドレスを設定します。
DHCP 終了 IP アドレス	DHCP アドレスプールの終了 IP アドレスを設定します。
ISP DNS	オンを選択すると ISP DNS 機能が有効になります。オフを選択すると ISP DNS 機能が無効になります。
プライマリ DNS	ISP から提供された DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
セカンダリ DNS	ISP から提供された DNS サーバー-2 の IP アドレスを設定します。
リース時間モード	リースタイムのモードを選択します。
リース時間	クライアント PC が DHCP サーバーによって割り当てられた IP アドレスを使用している時間を設定します。 リース期限が切れると、プライベート IP アドレスは他のネットワークデバイスに割り当てられるようになります。

4.2.3 LAN (IPv6)の設定

この手順では LAN (IPv6)の設定方法を説明します。


インターネットステータスの関連情報には、**割り当てアドレス (DHCPv6)**、**LAN アドレス管理**、**DHCPv6 サーバー**、**静的プレフィックス**、**ポート制御**、**RA サービス**が含まれます。

前提条件

プレフィックス委任を設定する前に、設定する IPv6 WAN 接続でプレフィックス委任が有効になっていることを確認します。

手順

割り当てアドレス (DHCPv6)を確認します。


1. ZXHN F2866S のメイン画面で **ローカルネットワーク > LAN > IPv6** を選択して **割り当てアドレス (DHCPv6)** ページを開きます  4-15.

4-15 割り当てアドレス(DHCPv6) ページ

ページ情報

このページでは、LAN (IPv6) パラメータの設定機能を提供します。

▼ 割り当てアドレス (DHCPv6)

 データがありません。

リフレッシュ

2. リフレッシュをクリックすると 最新の情報が表示されます。

LAN アドレスの設定

1. **LAN アドレス管理** をクリックし、**LAN アドレス管理** ページを表示します。  4-16.

4-16 LAN アドレス管理ページ

▼ LANアドレス管理

LAN IPv6アドレス	<input type="text" value="fe80::1"/>	<input type="button" value="適用"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>
--------------	--------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------------


2. Configure the LAN アドレスパラメータを設定します。表 4-8 に LAN アドレスパラメータを一覧します。

表 4-8 LAN アドレスパラメータの説明

パラメータ	説明
LAN IPv6 アドレス	LAN の IPv6 アドレス

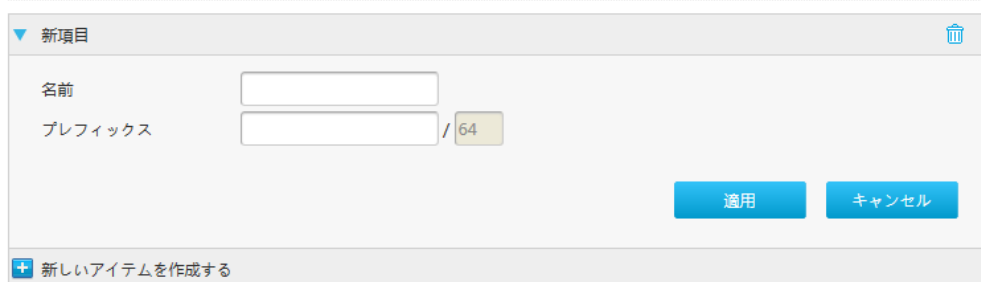
3. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

静的プレフィックスの設定.

1. **静的プレフィックス**をクリックし、**静的プレフィックス**ページを開きます。  4-17.

 4-17 静的プレフィックスページ

▼ 静的プレフィックス



2. 静的プレフィックスのパラメータを設定します。表 4-9 に静的プレフィックスパラメータを一覧します。

表 4-9 静的プレフィックスパラメータの説明

パラメータ	説明
名前	プレフィックスの名前
プレフィックス	IPv6 アドレスとプレフィックス長。GUA プレフィックスのみがサポートされます。プレフィックス長範囲: 64

3. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

DHCPv6 サーバーの設定

1. **DHCPv6 サーバー**をクリックして **DHCPv6 サーバー**のページを開きます。表 4-18.

 4-18 DHCPv6 サーバーページ

▼ DHCPv6サーバー

[DHCPv6サーバを設定する際に注意すべき点は何ですか？](#)



2. DHCP サーバーパラメータを設定します。表 4-10 に DHCP サーバーパラメータを一覧します。

表 4-10 DHCP サーバーパラメータの説明

パラメータ	説明
DHCPv6 サーバー	オンを選択するとデバイスは DHCP サーバーとして機能し、クライアント PC もしくは wireless デバイスに IP アドレスを割り当てます。
DNS 委任タイプ	DNS 委任タイプ: <ul style="list-style-type: none"> 自動: 使用可能なすべての DNS から自動的に選択された 1 つの DNS が委任されます。 マニュアル: 以前に構成されたすべての DNS から手動で選択された 1 つ以上の DNS が委任されます。
DNS リフレッシュ時間	クライアント PC が DHCP サーバーによって割り当てられた IP アドレスを使用する時間。 リース期間が終了すると、プライベート IP アドレスは他のネットワークデバイスに割り当てることができます。
プレフィックス委任タイプ	オプション: <ul style="list-style-type: none"> オートセンス: 使用可能なすべてのプレフィックスから自動的に選択された 1 つのプレフィックスが委任されます。 マニュアル: 以前に構成されたすべての静的プレフィックスから手動で選択された 1 つ以上のプレフィックスが委任されます。 無効: プレフィックスは委任されません。

3. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

RA サービスの設定

1. RA サービスをクリックして RA サービスページを開きます。  4-19.

4-19 RA サービスページ

▼ RAサービス

[RAサービスの設定時に注意すべき点は何ですか？](#)

RAサービス	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
MTUを指定する	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
ブリファレンス	中 <input type="button" value="▼"/>
最小再試行間隔	200 s
最大再試行間隔	600 s
M	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
O	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
プレフィックス委任タイプ	オートセンス <input type="button" value="▼"/>

2. RA サービスパラメータを設定します。表 4-11 に RA サービスパラメータを一覧します。

表 4-11 RA サービスパラメータの説明

パラメータ	説明
RA サービス	オン: RA サービスを有効にします。 オフ: RA サービスを無効にします。
MTU を指定する	オンを選択した場合は、MTU 値を入れます。
プリファレンス	デフォルトでプリファレンスは中です。
MTU	最大転送サイズを指定します。
最小/最大試行間隔	インターフェースから送信される 2 個の未要求マルチキャストルータ広告間の許容される最小/最大時間を指定します。
M, O	M: アドレス管理設定 O: 他のステートフル設定。 オンが選択された場合は 1、オフが選択された場合は 0 M = 0 かつ O = 0: SLAAC が情報取得に使われます。 DHCPv6 アーキテクチャのないネットワークに適用できません。 M = 1 かつ O = 1: DHCPv6 は、アドレスおよびその他の構成情報の取得に使用されます。 M = 0 かつ O = 1: SLAAC がアドレス情報の取得に使用されます。DHCPv6 は、IP アドレスを除くネットワークパラメータ設定の取得のみに使用されます。 M = 1 かつ O = 0: DHCPv6 は、アドレス情報の取得のみに使用されます。
プレフィックス委任タイプ	プレフィックス委任タイプ: <ul style="list-style-type: none"> • オートセンス: 使用可能なすべてのプレフィックスから自動的に選択された 1 つのプレフィックスが委任されます。 • マニュアル: 以前に構成されたすべての静的プレフィックスから手動で選択された 1 つ以上のプレフィックスが委任されます。

3. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

ポート制御の設定.

1. **ポート制御**をクリックして、**ポート制御**ページを開きます。図 4-20.

図 4-20 ポート制御ページ

▼ ポート制御

LAN1	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
LAN2	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
LAN3	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
LAN5	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID2	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID3	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID4	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID5	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID6	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID7	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA
SSID8	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPv6	<input checked="" type="checkbox"/> RA

すべてオン | すべてオフ

適用 キャンセル

2. DHCPv6 および RA の機能を有効にする為に、対応する LAN インターフェースまたは SSID を選択します。



Note:

- **すべてオン**をクリック: 全ての IPv6 サービス-ポート制御タイプが選択されます。
- **すべてオフ**をクリック: 全ての IPv6 サービス-ポート制御タイプがキャンセルされます。

3. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

4.3 FTP の設定

このセクションでは、**FTP** の設定方法を説明します。**FTP** は FTP 設定機能のパラメータを提供します。

前提条件

FTP アプリケーションを構成する前に、**USB** ストレージデバイスが接続されていることを確認します。

手順

1. ZXHN F2866S のメイン画面で **ローカルネットワーク > FTP** を選択し、**FTP** ページを開きます。図 4-27

図 4-27 FTP

ページ情報

このページでは、FTPパラメータの設定機能を提供します。

▼ FTP

FTPサーバー	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
FTPセキュリティ	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
FTPユーザー名	<input type="text" value="admin"/>
FTPパスワード	<input type="password" value="●●●●●"/>
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

2. 表 4-16 に FTP のパラメータを一覧します。

表 4-16 FTP パラメータ

パラメータ	説明
FTP サーバー	オン: FTP サーバーを有効にします。 オフ: FTP サーバーを無効にします。
FTP セキュリティ	オン: FTP セキュリティを有効にします。 オフ: FTP セキュリティを無効にします。
FTP ユーザー名/FTP パスワード	FTP セキュリティ機能が有効な場合にのみ有効です。

3. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

4.4 UPnP の設定

この手順では、UPnP 設定機能のパラメータを説明します。

手順

ZXHN F2866S のメイン画面でローカルネットワーク > UPnP を選択し、UPnP ページを開きます。図 4-28.

図 4-28 UPnP

ページ情報

このページでは、UPnPパラメータの設定機能を提供します。

▼ UPnP

UPnP	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
IPv4	
アドバタイズメント周期	<input type="text" value="30"/> min
アドバタイズメント継続時間	<input type="text" value="4"/> hop
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

表 4-17 に UPnP パラメータを一覧します。

表 4-17 UPnP パラメータ

パラメータ	説明
UPnP	オン：UPnP 機能を有効にします。 オフ：UPnP 機能を無効にします。
アドバタイズメント周期	UPnP デバイスがアナウンスパケットを送信する期間。 この期間中に UPnP デバイスがアナウンスパケットを送信しない場合、デバイスが無効であることを示しています。 デフォルトでは、期間は 30 分です。
アドバタイズメント継続時間	アドバタイズメントの TTL。アドバタイズメントは、ルータによって指定された回数だけ転送された後に破棄されます。デフォルト値は 4 です。

1. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

4.5 DMS/DLNA の設定

このセクションでは、DMS/DLNA の設定方法を説明します。**DMS/DLNA** 設定機能のパラメータを提供します。

DMS は DLNA プロトコルで定義されたマルチメディアサーバーで、UPnP プロトコルを使用してローカルメディアファイルまたは写真を検索および分類し、DMP に VOD サービスを提供します。

ZXHN F2866S デバイスで DMS 機能が有効になっている場合、UPnP 機能をサポートするクライアントは、指定された DMP (Windows Media Player など) を使用して、USB ストレージデバイスに保存されたメディアファイルまたは写真を見ることができます。

DMS 機能に使用される Windows Media Player のバージョンは 11 またはそれ以降、または OS は vista または Win 7 以降である必要があります。それ以前のバージョンの OS で DMP 機能を有効にするには、UPnP (TM) テクノロジー用 Intel (R) ツールまたは Twonky Media Manager などの特別なツールをインストールする必要があります。

前提条件

USB デバイスが ZXHN F2866S に接続されている必要があります。

手順

1. ZXHN F2866S のメイン画面でローカルネットワーク > DMS/DLNA を選択し、DMS/DLNA ページを開きます。図 4-30.

図 4-30 DMS/DLNA

ページ情報

このページには、DMSパラメータの設定機能があります。

▼ DMS/DLNA

2. DMS 機能を有効にし、メディアファイルが保存されているパスを指定します。パラメータの説明については、表 4-18 を参照してください。

表 4-18 DMS パラメータの説明

パラメータ	説明
DMS	オン : DMS 機能を有効にします。 オフ : DMS 機能を無効にします。
DMS 名	DMS の作成の為に、DMS の名前に入力します。
ライブラリ再スキャン方法	デバイスがサポートするライブラリ再スキャン方法。通常、自動が設定されます。
メディアソース 1- メディアソース 4	デフォルトでは、メディアソースは/mnt、つまり USB デバイスのルートディレクトリです。ルートディレクトリを USB ストレージデバイスの他のディレクトリに変更できます。



Note:

デフォルトでは、メディアソースは/mnt、つまり USB デバイスのルートディレクトリです。ルートディレクトリを USB ストレージデバイスの他のディレクトリに

変更できます。

3. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

4.6 DNS の設定

このセクションでは、**DNS**の設定方法を説明します。**DNS** は、DNS 設定機能のパラメータを提供します。

インターネットステータスの関連情報には、**ドメイン名**および**ホスト名**を含みます。

手順

ドメイン名

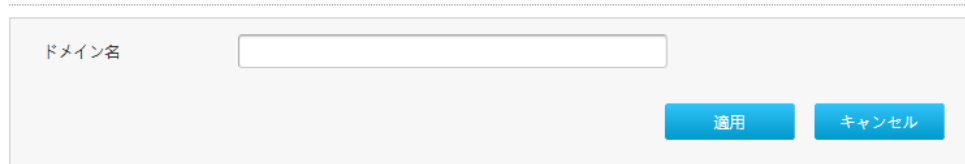
1. ZXHN F2866S のメイン画面で **ローカルネットワーク > DNS** を選択し、**ドメイン名**のページを開きます。図 4-33

図 4-33 ドメイン名

ページ情報

このページには、DNSパラメータの設定機能があります。

▼ ドメイン名



ドメイン名

適用 **キャンセル**

2. テキストボックスにドメイン名を入力します。
3. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

DNS の設定

4. **DNS** をクリックし、**DNS** のページを開きます。図 4-34.

図 4-34 DNS

▼ DNS



IPv4 DNSサーバー-1

IPv4 DNSサーバー-2

IPv6 DNSサーバー-1

IPv6 DNSサーバー-2

適用 **キャンセル**

5. ISP から割り当てられた **DNS** サーバーの **IP** アドレスを入力します。
6. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

ホスト名

7. ホスト名をクリックし、ホスト名のページを開きます。図 4-35.

図 4-35 ホスト名

▼ ホスト名

▼ A23329746

ホスト名	<input type="text" value="A23329746"/>
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.1.2"/>

▶ ZTE-V1000

+ 新しいアイテムを作成する

8. ホスト名テキストボックスにホスト名を入力し、IP アドレス のテキストボックスに IP アドレスを入力します。
9. 変更を適用するには 適用 ボタンをクリックします。

4.7 USB の設定

このセクションでは USB プリンタサーバー機能およびスイッチ機能を有効にする方法を説明します。

手順

1. ZXHN F2866S のメイン画面で ローカルネットワーク > USB を選択し、USB のページを開きます。図 4-36.

図 4-36 USB

ページ情報

このページには、USBパラメータの設定機能があります。

▼ USB

USBプリンタ	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
USBスイッチ	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ

2. USB プリンタサーバー機能を有効化するためには、USB プリンタチェックボックスを選択します
3. USB スイッチ機能を有効化するためには、USB スイッチチェックボックスを選択します。

4. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

第 5 章

5. 管理と診断

5.1 デバイス管理

この手順では、デバイスを再起動する方法および工場出荷時のデフォルト設定を復元する方法を説明します。

手順


1. ZXHN F2866S のメイン画面で、**管理& 診断 > システム管理 > デバイス管理** を選択し、**デバイス管理** のページを開きます。 .

図 5-1 デバイス管理

ページ情報

このページには、デバイス管理の機能があります。

▼ リブート管理

再起動：「再起動」ボタンをクリックしてデバイスを再起動してください。この処理には約5分かかります。

注：再起動操作は、現在のすべてのサービスを中断します。

リブート

▼ 工場リセット管理

工場出荷時のリセット：すべてのパラメータ設定が工場出荷時の状態に戻ります。この操作が完了すると、デバイスは自動的に再起動します。

注：この操作が終了すると、すべての設定が初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。

工場リセット

2. この手順では、次の操作を実行できます。
 - リブートをクリックして ZXHN F2866S デバイスを再起動します。
 - 工場リセットをクリックして、工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

5.2 アカウント管理

この手順では、ユーザアカウントと権限を管理する方法を説明します

手順

ユーザアカウント管理

1. ZXHN F2866S のメイン画面で**管理 & 診断 > アカウント管理**を選択し、**ユーザアカウント管理** のページを開きます。 [図 5-7](#)。

図 5-7 ユーザアカウント管理

▼ ユーザーアカウント管理

2. ユーザアカウント管理パラメータを設定します。
表 5-2 にユーザアカウント管理パラメータを一覧します。

表 5-2 ユーザアカウント管理パラメータ

パラメータ	説明
ユーザー名	ログイン時のユーザー名です。変更出来ません。
旧パスワード	旧パスワードを入力します。
新パスワード	新しいパスワードを指定します。
パスワードの確認	新しいパスワードを確認します。

3. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

アイドルタイムアウト

4. ZXHN F2866S のメイン画面で **管理 & 診断 > アカウント管理**を選択し、**アイドルタイムアウト**のページを開きます。 [図 5-8](#)。

図 5-8 ログインタイムアウト

▼ アイドルタイムアウト

5. **タイムアウト** テキストボックスに時間を指定します。

6. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。



Note:

タイムアウトの設定は、再度システムにログインした後、有効になります。

5.3 ログ管理

この手順では ZXHN F2866S のログ管理機能の設定方法を設定します。

手順

システムログ管理

1. ZXHN F2866S のメイン画面で **管理 & 診断 > ログ管理 > システムログ管理** を選択し、**システムログ管理** のページを開きます。 [図 5-9](#).

図 5-9 システムログ管理

ページ情報

このページでは、ログパラメータの設定機能を提供します。

▼ システムログ管理

2. システムログ管理パラメータを設定します。

[表 5-3](#) システムログ管理パラメータを説明します。

表 5-3 システムログ管理パラメータの説明

パラメータ	説明
-------	----

ログを保存する	オン : システムログ機能を有効化します。その後ログレベルを設定します。 オフ : システムログ機能を無効化します。
リモートログ	[オン]をクリックすると、デバイスは定期的にログをログサーバーに送信します。 リモートログサーバーの IP アドレスを設定します。

3. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

ログの操作	手順
最新情報の表示	リフレッシュボタンのクリック
ログサーバーからログファイルをダウンロード	ダウンロードログボタンのクリック
ログのクリア	クリアボタンのクリック。

4. 変更を適用するには **適用** ボタンをクリックします。

セキュリティログ管理

5. ZXHN F2866S のメイン画面で**管理 & 診断 > ログ管理 > セキュリティログ管理**を選択し、**セキュリティログ管理**のページを開きます。図 5-10.

図 5-10 セキュリティログ管理

▼ セキュリティログ管理

6. セキュリティログ管理パラメータを設定します。

表 5-4 セキュリティログ管理パラメータを説明します。

表 5-4 セキュリティログ管理パラメータの説明

パラメータ	説明
-------	----

ログを保存する	オン：セキュリティログ機能を有効化する。 オフ：セキュリティログ機能を無効化する。
---------	----------------------------------------------

5.4 診断

5.4.1 ネットワーク診断

このセクションでは、診断の方法を説明します。**診断**は、診断設定機能のパラメータを提供します。

手順

PING 診断

1. ZXHN F2866S のメイン画面で**管理& 診断 > 診断 > ネットワーク診断** を選択し、**PING 診断** のページを開きます。 [図 5-12](#)。

図 5-12 PING 診断

▼ ネットワーク診断

[診断時に気づくべきことは何ですか？](#)

▼ PING診断

IPアドレス/ホスト名

インターフェース

診断結果

2. **IP アドレス/ホスト名** テキストボックスにホスト IP アドレスもしくはホスト名を入力し、ドロップダウンリストから **WAN/LAN 接続** を選択します。
3. **ネットワーク診断** をクリックし、接続を診断します。システムが診断結果を画面に出力します。

5.4.2 ループバック検出

手順

基本設定

1. ZXHN F2866S のメイン画面で**管理& 診断 > 診断 > ループバック検出**を選択し、**ループバック検出** のページを開きます。図 5-16.

図 5-16 基本設定

ページ情報

このページには、ループバック検出パラメータの設定機能があります。

▼ 基本設定

宛先MAC ブロードキャストアドレス BPDUアドレス

イーサネットタイプ

送信間隔 ms

ポート閉じる時間 s

ループバック復旧時間 s

2. パラメータを設定します。パラメータの説明は、表 5-9 を参照してください。

表 5-9 ループバック検出基本パラメータの説明

パラメータ	説明
宛先 MAC	オプション: ブロードキャストアドレス、BPDU アドレス
イーサネットタイプ	ポートループバック検出用のイーサネットパケットのタイプ。
送信間隔	ループバック検出パケットを送信する間隔。
ポート閉じる時間	ポートでループバックが検出されてからポートを閉じる為の許容時間
ループバック復旧時間	ループバック検出が完了したかどうかを判断するために使用される時間。この期間内に検出パケットが受信されない場合、ループバック検出は完了したと見なされます。

3. **適用.**をクリックします。

スイッチ制御

4. ZXHN F2866S のメイン画面で**スイッチ制御**を選択して**スイッチ制御**のページを開きます。図 5-17.

図 5-17 スイッチ制御

▼ スイッチ制御

LAN1	<input type="checkbox"/> ループバック	<input checked="" type="checkbox"/> アラーム	<input checked="" type="checkbox"/> ポートループ解除
LAN2	<input type="checkbox"/> ループバック	<input checked="" type="checkbox"/> アラーム	<input checked="" type="checkbox"/> ポートループ解除
LAN3	<input type="checkbox"/> ループバック	<input checked="" type="checkbox"/> アラーム	<input checked="" type="checkbox"/> ポートループ解除
LAN5	<input type="checkbox"/> ループバック	<input checked="" type="checkbox"/> アラーム	<input checked="" type="checkbox"/> ポートループ解除

すべてオン | すべてオフ



Note:

ZXHN F2866S は、デフォルトでは、**アラーム**と**ポートループ解除**（自動ループバック解除）が有効になります。

- 各 **アラーム**チェックボックスは、ループバックが検出されたときにアラーム報告するかどうかを指定します。
- 各 **ポートループ解除**チェックボックスは、対応するポートでループバックが検出された後、ループバック検出を自動的に解除するかどうかを指定します。

5. 必要なチェックボックスを選択し、**適用**をクリックします。

VLAN の選択

6. ZXHN F2866S のメイン画面で **VLAN** を選択し **VLAN** のページを開きます。☒ 5-18.

☒ 5-18 VLAN

▼ VLAN

▼ 新項目 🗑️

ポート ▼

VLAN ID

+ 新しいアイテムを作成する

7. ループバック検出用のポートを選択し、**VLAN ID** を入力し、**適用**をクリックします。

第 6 章

6. トラブルシューティング

電源ボタンを押しても前面パネルの電源インジケータが消灯となります。

電源アダプタがデバイスに正しく接続されていません。必ずデバイスに付属の電源アダプタを使用してください。

デバイスの電源がオンになった後、**ALARM LED** が赤く点滅します。

- 光ファイバが **ONT PON** インターフェイスに正しく接続されていません。
- 光ファイバが破損または損傷している。
- **LED** が赤く点灯するか、点滅し続ける場合は、サービスプロバイダに連絡してメンテナンスを依頼してください。

デバイスの電源がオンになった後、前面パネルの **PON LED** が消灯または緑色で点滅します。

- **GPON** リンクが確立されていません。
- **ONT** が登録されていません。
- サービスプロバイダにお問い合わせください。

デバイスの電源がオンになった後、前面パネルの **LAN LED** が消灯です。

- 光ケーブルが **ONT PON** インターフェイスに正しく接続されていません。
- 光ケーブルが破損または損傷しています。
- **LED** が赤く点灯するか、点滅し続ける場合は、サービスプロバイダに連絡してメンテナンスを依頼してください。

デバイスの電源がオンになった後、**LINE LED** が消灯または緑色で点滅します。

- **XGS-PON** リンクが確立されていません。
- **ONT** が登録されていません。
- サービスプロバイダにお問い合わせください。

デバイスの電源がオンになった後、**WAN LED** が消灯です。

- 対応するインターネットリンクが確立されていません。
- イーサネットケーブルが **LAN** インターフェイスに正しく接続されていません。
- **LAN** インターフェイスに接続されたネットワークデバイスの電源が入っていません。

用語集

ACL

- Access Control List

ALG

- Application Level Gateway

APN

- Access Point Name

ARP

- Address Resolution Protocol

BPDU

- Bridge Protocol Data Unit

CHAP

- Challenge Handshake Authentication Protocol

DDNS

- Dynamic Domain Name Server

DHCP

- Dynamic Host Configuration Protocol

DLNA

- Digital Living Network Alliance

DMP

- Digital Media Player

DMS

- Digital Media Server

DMZ

- Demilitarized Zone

DNS

- Domain Name System

DSCP

- Differentiated Services Code Point

DTIM

- Delivery Traffic Indication Message

FTP

- File Transfer Protocol

GUA

- Global Unicast Address

ICMP

- Internet Control Message Protocol

IGMP

- Internet Group Management Protocol

IPoA

- IP over ATM

ISP

- Internet Service Provider

MAC

- Media Access Control

MLD

- Multicast Listener Discovery

MTU

- Maximum Transfer Unit

NAT

- Network Address Translation

OS

- Operating System

PAP

- Password Authentication Protocol

PPPoE

- Point to Point Protocol over Ethernet

QoS

- Quality of Service

RA

- Routing Area

RIP

- Routing Information Protocol

RTS

- Request To Send

SIG

- Short Guard Interval

SLAAC

- Stateless Address Autoconfiguration

SNTP

- Simple Network Time Protocol

SSID

- Service Set Identifier

TCP

- Transmission Control Protocol

UDP

- User Datagram Protocol

UPnP

- Universal Plug and Play

URL

- Uniform Resource Locator

VOD

- Video On Demand

WMM

- Wi-Fi MultiMedia

WPA

- Wi-Fi Protected Access

WPS

- Wi-Fi Protected Setup
-